

# 生ごみの堆肥化の方法

嫌気性処理容器（密閉処理容器）使用方法

1 投入できるもの 料理を作るときに出る生ごみ、残飯

2 生ごみの処理方法

(1) 容器の底に発酵促進剤を5mmの厚さに広がります。



(2) 良く水切りした生ごみを、均一に広げるように投入します。



(3) 生ごみ1kgに対して10~20gの発酵促進剤を、均一に広げて投入します。夏場は発酵促進剤を多めに投入してください。



(4) しっかりとフタをして日の当たらない場所に置きます。ふたが閉まっていないと発酵が進まず、腐敗の原因となります。



(5) 以下、を繰り返し、容器がいっぱいになり、7~10日間放置すると、発酵処理した生ごみとなります。途中でガスが発生し容器が膨れる場合は、フタを少し開けてガス抜きをします。また、容器の底にたまる液は、その都度抜くようにしてください。この液は液肥としてご利用できます。

- 1 発酵処理した生ごみは見かけは生ごみのままです。
- 2 2基の容器を交互に使用すると便利です。

3 発酵処理した生ごみ等の利用法

<生ごみ>...肥料として使用できます。

- ・畑、庭、花壇 作物の根に直接当たらないように(畑なら「うね」と「うね」の間、庭や花壇なら、庭木のまわりに)穴を掘って埋めます。
- ・プランター 土を1/3程度入れ、上に発酵処理した生ごみを入れます。その上に土をかぶせ、2週間以上たってから種や苗を植えます。

<底に溜まった液>...肥料として使用できます。

- ・500~1,000倍程度に薄めて使用します。